横浜市立 瀬谷中学校 令和 4 - 6 年度版 5 年度修正) 中期学校経営方針 (令和

「社会で飛躍する子どもたちの育成」 〇基礎学力の定着と自ら学ぶ力の育成 (知) 校 〇他者を思いやり、礼儀や規律を重んじる態度の育成 (徳) 〇生命を尊ぶ健康な心と身体の育成 (体) 〇社会に貢献し様々な人と関わり合う態度の育成 (公・開) 目 標 一般学級:21

副校長 山内 裕介

概要 児童生徒数: 835 主な関係校: 瀬谷小学校 大門小学校 上瀬谷小学校 人

市村 美穂子

教育	課程:	全体で	5
育成を目	指す	資質·	能力

学校長

<自分自身を高めていくカ>

77 周年

創立

学校

期

取

組 目

標

瀬谷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
瀬谷中学校 瀬谷小学校 大門小学校 上瀬谷小学校	人との関わりの中で多様性を認め合い、自ら高められる児童・生 徒
	・子ども像実現に向けた小中一貫カリキュラムの共同作成。 ・ブロック教務主任会で、評価の機会として授業参観を設定。 ・児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を実施。 ・児童生徒の交流機会(部活動体験、ハマロード)の実施。

学期制

個別支援学級:5

〇全ての生徒の安全・安心な教育環境を守り、地域(社会)・家庭とともに歩む学校を目指します。

- ・子どもの可能性を引き出す個別最適な学びや協働的な学びを確立し、学習の楽しさを実感できる授業を目指します。
- ・豊かな心を育み、子どもとともにいじめ根絶に向けた取組を推進し、規範意識を醸成します
- ・健やかな体を育めるよう、運動習慣の確立、生活習慣の改善、食生活の向上に向けて取り組みます。 ・生徒主体の活動を充実させる中で、自己有用感を醸成し、子どもが主体的に行動する力を育みます。
- ・地域(社会)と家庭、そして学校が子どもを育む主体であるという考え方を共有し、地域とともに成長していける学校を目指します。

1	重点取組分野	具体的取組	
知	学力向上	①市学力・学習状況調査の結果を研修会で分析し、生徒の姿を明確にして、適切な学習支援を行う。②研究: 業を行い、教科や領域を超えて研鑚し合い、授業の充実を図る。③指導と評価の一体化を図り、生徒の学習: 欲が高まるような授業の工夫・改善を行う。	
担当	研究研修部	がからなるというな技术のエス・以音で行う。	
徳	豊かな心	①ローテーション道徳を取り入れ、また、授業研究会を実施し、道徳の授業力向上を図る。 ②Y-Pアセスメントを活用するための研修会を実施し、生徒理解を深め、教職員の人権意識の向上を図る。③ 様な学びの場を整備するとともに、小中間の滑らかな接続を図るために、関係機関との連携を密にする。	
担当	学習指導部(人権)		
体	健やかな体	①生徒が運動に関心をもち、習慣化するよう、保健体育の授業や行事への取組を通して生徒の体力向上に取組む。②生徒自らの振り返りを大切にした健康教育を実施する。③生徒及び家庭への健康づくりに関わる情報発信の充実を図る。	
担当	保健体育科・保健安全		
公開	地域学校協働活 動	①小中ブロック学校運営協議会の内容と運用の効率化について、引き続き検討する。②生徒と地域との関わり の在り方を検討し、適切な活動ができるようにする。	
担当	学家地連		
l	じめへの対応	①引き続き、予防の観点から日々の生徒との関わりや教育相談、アンケートを通して、子どもの変化を丁寧に見取る。②学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめ防止対策委員会を機能させ、当該学級や学年だけでなく学校として組織的に対応する。	
担当	いじめ防止対策委員会		
組	人材育成・ 織運営(働き方)	①メンターチームを積極的に機能させ、中堅職員の教師力向上を図り、若手の教員のニーズに応えながら必要な研修を計画する。②引き続き時間外勤務時間削減のために、各分掌で整理できる業務を検討する。	
担当	教務部・メンターチーム		
	特別支援教育	①授業の中でユニバーサルデザインの視点を大切にした指導を充実させる。②職員どうし、あるいは保護者との情報交換を密にし、機関連携も視野に入れ、適切な支援を行う。③サポートルームの組織的な運営を、職員全体で進める。	
担当	特別支援教育委員会		
	生徒指導	①「連携」の充実だけでなく、「初動」の重要性を意識した指導を充実させる。②校内ハートフル支援員を活用し、学習保障(「瀬谷中版どこでもスタディ」)を含めた不登校生徒への支援を組織的に行う。③生徒から「規範意識」に対しての声かけができるよう、生活委員会等生徒の活動を充実させる。	
担当	生徒指導部	に対しての严かけができるよう、エ泊安良太守工化の泊割で北天でせる。 	
	≟徒活動の充実	①評議会では生徒会の年間目標に沿った議題を設定し、それを事前に評議員に提示することで、生徒会活動活性化を図る。②生徒会活動や行事への取組、学級活動等において、生徒主体の活動を充実させる中で、自有用感を育成する。	
担当	特活指導部		
		b10	
+0 1/			
担当			